

男鹿市が目指す5つのまちづくり

総合計画で目標とする主な成果指標 (KPI)

まちづくり1 産業が元気なまち・挑戦する人が活躍するまち

指標名		現状値	目標値(R11)
メロン・梨・キクなど戦略作物の産出額【年間】		10.7億円	13.2億円
漁業経営体当たり漁獲額【年間】		3,805千円	5,500千円
宿泊客数【年間】		8.4万人	15万人
誘致企業における常時雇用者数【累計】		-	65人



まちづくり2 半島防災に向けた安全・安心なまち

指標名		現状値	目標値(R11)
防災リーダー講習受講者数【年間】		1,261人	1,661人
防災士取得者数【累計】		46人	62人
一人一日当たりの家庭系ごみ排出量		577g	500g
下水道水洗化率		77.5%	79.5%



まちづくり3 市民の暮らしと健康を守るまち

指標名		現状値	目標値(R11)
介護予防自主グループ数【累計】		25グループ	29グループ
市民病院医業収支比率		77.6%	82.0%
特定健診受診率		27%	33%
健康アプリ利用者数【累計】		-	1,250人



まちづくり4 子育ての希望があふれるまち

指標名		現状値	目標値(R11)
子育て世帯の満足度割合		46.2%	80.0%
体育施設利用者数【年間】		180,633人	200,000人
史跡脇本城跡来城者数【年間】		2,413人	4,000人
ナマハゲ行事実施町内数【年間】		69町内	73町内



まちづくり5 市民との協働による持続可能なまち

指標名		現状値	目標値(R11)
市公式Instagramフォロワー数【累計】		1,700人	7,000人
移住施策を通じた移住世帯数【年間】		20件	40件
空き家バンク成約件数【累計】		71件	110件
オンライン申請利用率(施設予約)		9.8%	20%



OGA!男鹿!!観光写真フォトコンテスト2022
最優秀賞 受賞作品「私たちの故郷」

リーフレット版

男鹿市総合計画

～なまはげの里～ おが幸せ未来ビジョン

2026→2029

令和8年3月



秋田県男鹿市

総合計画の
全体版は
こちらから



【発行】男鹿市 総務企画部 企画政策課

〒010-0595 秋田県男鹿市船川港船川字泉台66-1 TEL.0185-23-2111 FAX.0185-23-2424
[E-mail] kikaku@city.oga.akita.jp [URL] https://www.city.oga.akita.jp/

基本理念

目指す姿

人口減少社会に対応した 元気で心豊かに暮らす男鹿

人口減少のスピードを緩めるため最大限の対策を講じつつ、人口減少が当面続くことは避けられないということを受け止めたうえで、将来の人口規模に適応するための取組や生活の質を高める取組を進め、市民一人ひとりの幸福度の向上を目指します。

将来指標

市民所得（市民所得の向上）

	市内総生産	1人当たりの市民所得
令和4年度	698億円	217万円
	▼	▼
令和11年度	750億円	288万円

将来人口（人口減少の抑制）

令和6年10月	22,319人
	▼
令和17年	17,000人以上を維持

市民幸福度

	幸福度5～10点を付けた人の割合
令和6年市民意識調査	84.4%
	▼
令和10年市民意識調査	90%以上

重点戦略

人口減少を
緩やかなものと
するために

産業力の強化

「産業力の強化」の取組により、市民所得の向上や新たなビジネスに挑戦しようとする意欲ある若者、企業等に応えられる男鹿を目指します。

子育て環境日本一への取組

「子育て環境日本一への取組」により、男鹿で結婚・出産・子育てすることへの前向きな意識を醸成し、充実した子育て環境の下で出生数の増加と、積極的なPRにより子育て世代の移住者を呼び込む好循環の実現を目指します。

防災力の強化

「防災力の強化」等の安全・安心、生活の質を高める取組により、男鹿に暮らす全ての人々が生きがいと誇りを持ち、地域で心豊かに安心して暮らしていける男鹿を目指します。

まちづくり1 産業が元気なまち・挑戦する人が活躍するまち

船川港の機能強化、企業誘致・新規起業を促進することで、新たな価値を創り出す産業づくりを進め、若者の地元への定着・回帰を促します。

観光・農林水産業では、環境整備や情報発信を強化することで多様な地域資源を磨き上げ、男鹿ブランドの向上を目指します。



廃校を活用したバックご飯製造工場



ホテル木下秋田男鹿駅前

男鹿市が目指す5つのまちづくり



まちづくり4 子育ての希望があふれるまち

子育て環境日本一に向け、切れ目のないサポートを包括的に行うことで、安心して子どもを産み育て、子ども達が健やかに育つ環境整備に取り組みます。

また、すべての市民が、生涯にわたって学び、成長し、豊かな生活を実現することのできるまちを目指します。



子育て環境日本一を目指した取組



日本海メロンマラソン

まちづくり2 半島防災に向けた安全・安心なまち

能登半島地震や大雨災害を教訓に、災害活動を迅速・円滑に行う体制を構築するとともに、避難所の環境改善や資機材の整備を進め、防災力の強化を図ります。

また、豊かな都市環境や自然環境を保ち、その質を高めることで誰もが快適で安心に暮らし続けるまちを目指します。



大規模災害対応実動訓練

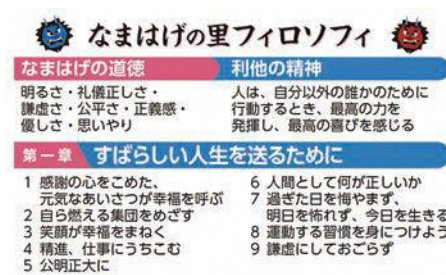


緊急猟銃訓練

まちづくり5 市民との協働による持続可能なまち

まちづくりに関わる全ての人が、男鹿への愛着と誇りを持てるよう、市民協働の意識醸成、まちづくりに参加しやすい環境整備をオール男鹿で取り組みます。

また、シティプロモーションをはじめとした人口減少対策に資する取組を進めるとともに、自治体DXの推進、公共施設の適正化、多角的な財源の確保などを推進し、将来にわたって安定的かつ発展的な行財政運営を目指します。



なまはげの里フィロソフィ



新宿歌舞伎町でのプロモーション活動



北浦地区で始まった医療MaaS



集団健診会場